

事 務 連 絡
令和 4 年 10 月 27 日

各都道府県建設業協会
専務理事・事務局長 殿

一般社団法人全国建設業協会
専務理事 山崎 篤男
〔 公 印 省 略 〕

令和 4 年度インフラ D X 大賞（旧：i-Construction 大賞）の募集について

平素は、本会の活動につき格段のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記につきまして、国土交通省大臣官房技術調査課 i-Construction 推進コンソーシアム事務局より、別添のとおり募集開始の案内がございました。

本年度はインフラ D X 大賞に改称するとともに、「大臣賞」「優秀賞」に加えて新たに「スタートアップ奨励賞」の表彰も予定されております。

つきましては、ご多忙の折、誠に恐縮ですが、貴会会員企業の皆様に周知賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

なお、インフラ D X 大賞に改称しておりますが、これまでの i-Construction に関する取組も引き続き募集しているとのことであり、ご注意くださいようお願い申し上げます。（詳細は国土交通省 記者発表 H P をご覧下さい）

以 上

【添付資料】

記者発表資料

別紙1：インフラ D X 大賞の候補要件の募集について

別紙2：インフラ D X 大賞応募 理由書

参 考：i-Construction とインフラ分野の D X との関係

■国土交通省 記者発表 H P

https://www.mlit.go.jp/report/press/kanbo08_hh_000912.html

【担当】事業部 沖村
TEL：03-3551-9396
FAX：03-3555-3218
E-mail：jigyo@zenken-net.or.jp

集まれ！！インフラ DX のベストプラクティス**～「令和 4 年度インフラ DX 大賞（旧:i-Construction 大賞）」の募集～**

国土交通省は、建設現場の生産性向上に関するベストプラクティスの横展開に向けて、平成 29 年度より「i-Construction 大賞」を実施してきました。

令和 4 年度は、この取り組みをさらに拡大するため「インフラ DX 大賞」と改称し、インフラの利用・サービスの向上や建設業界以外の取組についても含めて広く募集することといたします。また、インフラ分野におけるスタートアップの取組を支援し、活動の促進、建設業界の活性化へつなげることを目的に、これまでの「国土交通大臣賞」「優秀賞」の他、新たに「スタートアップ奨励賞」として表彰を予定しており、積極的なご応募をお待ちしております！

国土交通省では、これまで建設現場の生産性向上を目指した「i-Construction」の取組を進めてきたところですが、「i-Construction」の取組を中核にさらに発展させ、データとデジタル技術を活用して社会資本や公共サービスを変革する「インフラ分野の DX」を推進しています。

「インフラ DX 大賞」の募集対象、応募要件、応募期限は下記の通りです。その他、応募方法等のより詳しい情報は別紙 1 及び別紙 2 をご参照ください。

○募集対象

次に掲げる取組のうち、インフラ分野において、データとデジタル技術を活用して、建設生産プロセスの高度化・効率化、国民サービスの向上、組織の働き方や文化・風土の改革等につながる優れた実績をあげた取組

- ①各発注機関※から受注した工事・業務において、令和 3 年度に完了した取組（元請け、下請けを問いません）
- ②その他、令和 3 年度に各団体が独自に実施した取組

※国土交通省や地方公共団体等から受注した企業の取組は、別途、発注者からの推薦を募るため、本募集の対象ではありません。

○応募要件

i-Construction 推進コンソーシアムの会員※³であること。

※3. 会員の申込申請はこちらから

→ <https://www.mlit.go.jp/tec/i-construction/apply/index.html>

○補足

- ・「インフラ分野のDX」は、これまでの「i-Construction」の取組を中核に更に発展させるもの（別添参考）ですので、「i-Construction」に関連する取組についても、引き続き募集の対象としております。
- ・「インフラDX大賞」の対象とする取組のイメージについては、令和4年3月に作成の「インフラ分野のDXアクションプラン」も適宜ご参照ください。

<https://www.mlit.go.jp/tec/content/001474432.pdf>

- ・スタートアップ奨励賞を選考するにあたってのスタートアップの該当基準については、政府全体の動向も鑑み、表彰案件の選考過程において併せて検討することとしております。なお、現時点では、中小企業庁発行の「官公需契約の手引き」に記載の「新規中小企業者」の定義を参考とすることを考えております。（「中小企業」の定義は p.113～p.115、「新規中小企業者」の定義は p.43（参考1）を参照）

<https://www.chusho.meti.go.jp/keiei/torihiki/kankouju/tebiki/19013030fytebiki.pdf>

○応募期限

令和4年11月25日(金) 12時

問い合わせ先

大臣官房技術調査課 課長補佐 田中（内線 22339）

建設情報高度化係長 小泉（内線 22326）

夜間直通：03-5253-8219 FAX：03-5253-1536

大臣官房公共事業調査室 課長補佐 近藤（内線 24296）

夜間直通：03-5253-8258 FAX：03-5253-1560

代表番号：03-5253-8111

令和4年10月21日

i-Construction 推進コンソーシアム会員 各位

i-Construction 推進コンソーシアム事務局
(国土交通省 大臣官房 技術調査課)

インフラ DX 大賞の候補案件の募集について

平素より、「i-Construction」および「インフラ分野のDX」の推進にご尽力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、国土交通省では、建設現場の生産性向上に関する優れた取組を表彰し、ベストプラクティスを広く普及・展開することを目的に、平成29年度に「i-Construction 大賞」を創設いたしました。また、令和4年度より、この取り組みをさらに拡大し「インフラ DX 大賞」として、インフラの利用・サービスの向上や建設業界以外の取組についても含めて広く募集することとしております。皆様の取組について、是非応募いただければと存じます。

記

(1) 募集対象

次に掲げる取組のうち、インフラ分野において、データとデジタル技術を活用して、建設生産プロセスの高度化・効率化、国民サービスの向上、組織の働き方や文化・風土の改革等につながる優れた実績をあげた取組

- 国土交通省や地方公共団体等を除く各発注機関[※]から受注した工事・業務において、令和3年度に完了した取組（元請け、下請けを問いません）
- その他、令和3年度に各団体が独自に実施した取組

※国土交通省や地方公共団体等から受注した企業の取組は、別途、発注者からの推薦を募ることとしております。

※インフラ分野のDXの取組は、i-Construction の取組も含めて更に対象を拡大した取組としております。（詳細は別紙参照）

(2) 応募要件

- i-Construction 推進コンソーシアムの会員であること。

(3) 応募方法

- 以下の資料を、(6)問い合わせ先まで提出してください。
 - ① 応募理由書（様式1）
 - ② 取組の概要や効果を示す資料
 - ◇ 文書、図表、写真等：A4で2枚以内（PPT形式）
 - ◇ 動画*
 - 時間：2分以内
 - ファイル形式：wmv、mp4形式
 - 動画の解像度：854×480（アスペクト比：16：9）

※有効性、先進性、波及性が把握可能なように、構成等を工夫してください

※時間、ファイル形式、動画の解像度は必ず守ってください

※動画の提出は必須とします
- 応募件数は、各会員1件までとします。

(4) 応募期限

令和4年11月25日（金）12時

(5) 選考方法・結果の通知

- 応募された案件は、国土交通省HPにおいて、i-Construction推進コンソーシアム会員による投票、及び、国土交通省内に設置するインフラDX大賞選考委員会において、有効性、先進性、波及性の観点から審査を行い、表彰を受けることが適当であると認められる者を選考します。
- 選考された案件については、提出された動画も含めた、各案件の概要等を国土交通省のウェブサイト等において公表する予定であり、応募をもって公表に同意いただいたものとさせていただきます。
- 選考されなかった案件について、個別の通知はいたしません。

(6) 応募上の留意点

- 応募する動画に承諾を得ていない人物（通行人等）の顔の映り込みがある場合は、応募者が投稿前に責任を持って、個人が特定できない処理（ボカシ等）を行うこととします。
- 応募する動画に関わる権利（肖像権等）に関して、主催者は責任を負わないものとします。
- 応募者が指名停止等の措置を受ける等、社会通念上不適切と思われる場合には受賞対象から除外することや、受賞を取り消す可能性があります。

- 政府機関（府省庁等）又はその他の機関（地方公共団体、業界団体等）による表彰制度の受賞者についても、本表彰の対象となります。
- 過去に本表彰に応募した取組についても、前回の応募時のものと比べて新たな内容又は付加的な事由が存在する場合には、前回の応募時の内容を含めて再応募することができます。

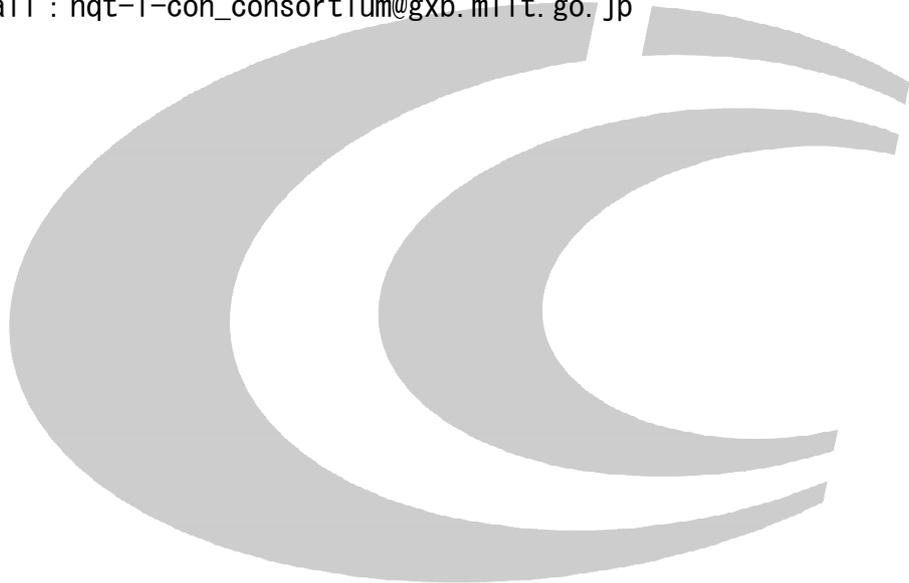
(7) 問合せ先

国土交通省大臣官房技術調査課

i-Construction 推進コンソーシアム事務局

TEL : 03-5253-8219

E-mail : hqt-i-con_consortium@gxb.mlit.go.jp



i-Construction

インフラ分野のDX(業務、組織、プロセス、文化・風土、働き方の変革)

インフラの利用
サービスの向上

インフラの整備
管理等の高度化

ハザードマップ(水害リスク情報)の3D表示



リスク情報の3D表示により
コミュニケーションをリアルに

特車通行手続の
即時処理

河川利用等手続きの
オンライン24時間化

デジタルツイン



デジタルデータの連携

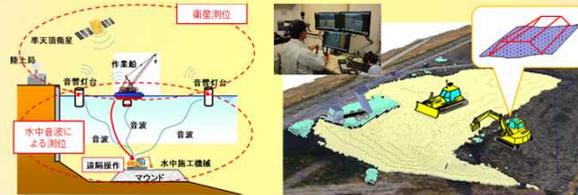
i-Construction(建設現場の生産性向上)

ICT施工



【3次元測量】
あらゆる建設生産プロセスでICTを全面的に活用

建機の自動化・自律化



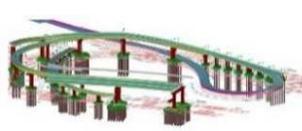
自律施工技術・自律運転を活用した建設生産性の向上

コンクリート工の規格の標準化



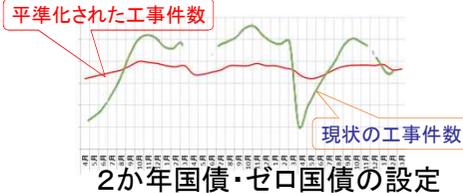
定型部材を組み合わせた施工

BIM/CIM

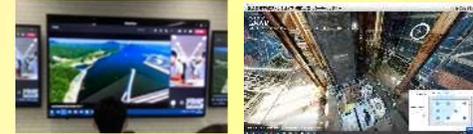


受発注者共に設計・施工の効率化・
生産性向上

施工時期の平準化



バーチャル現場



VRでの現場体験、3Dの設計・施工協議の実現

地下空間の3D化

所有者と掘削事業者の
協議・立会等の効率化

AIを活用した画像判別



AIにより交通異常検知の判断・点検等を効率化

建設業界 建機メーカー
建設コンサルタント 等

ソフトウェア、通信業界
サービス業界 占有事業者

令和3年度 i-Construction大賞の表彰について

- 建設現場の生産性向上 (i-Construction) の優れた取組を表彰し、ベストプラクティスとして広く紹介することにより、i-Constructionを推進することを目的に、平成29年度に「i-Construction大賞」を創設。
- 令和3年度の受賞者として、計22団体 (国土交通大臣賞 5団体、優秀賞 17団体) を決定し、授与式を開催。

○工事・業務部門

表彰の種類	団体名	発注地等
国土交通大臣賞	中電技術コンサルタント株式会社	近畿
優秀賞	株式会社玉川組	開発局
優秀賞	株式会社本間組 東北支店	東北
優秀賞	清水・五洋特定建設工事共同企業体	関東
優秀賞	アジア航測株式会社	関東
優秀賞	真柄建設株式会社	石川県
優秀賞	朝日丸建設株式会社	中部
優秀賞	ユウテック株式会社	三重県
優秀賞	株式会社 第一土木	近畿
優秀賞	株式会社増岡組	中国
優秀賞	パンフィックコンサルタンツ株式会社	中国
優秀賞	東亜建設工業株式会社 四国支店	四国
優秀賞	大成・I H I インフラ・八方地域維持型建設共同企業体	九州
優秀賞	株式会社ホープ設計	沖縄

○地方公共団体等の取組部門

表彰の種類	団体名	地域
国土交通大臣賞	栃木県	関東
優秀賞	札幌市	北海道
優秀賞	貝塚市	近畿

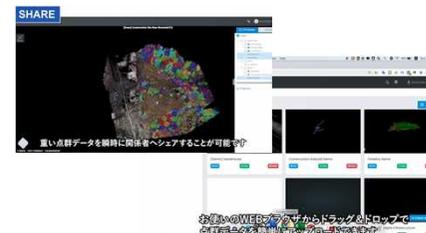
○ i-Construction推進コンソーシアム会員の取組部門

表彰の種類	団体名	本社所在地
国土交通大臣賞	スキャン・エックス株式会社	東京都
国土交通大臣賞	株式会社大林組	東京都
国土交通大臣賞	株式会社アンドパッド	東京都
優秀賞	株式会社加藤組	広島県
優秀賞	清水建設株式会社	東京都

■ 令和3年度 大臣賞受賞団体の取組



UAVの自律飛行による天然ダムおよび砂防関係施設の点検・調査
【中電技術コンサルタント株式会社】



オンライン点群処理プラットフォーム「スキャン・エックス」
【スキャン・エックス株式会社】

■ 令和3年度表彰式 (R4.3.7)



スマートフォンを活用した維持管理体制のDX化
【栃木県】



ICT建機の施工履歴データとDX統合型クラウドを使った生産性向上への取組
【株式会社大林組】



クラウド型建設プロジェクト管理サービス
「ANDPAD」
【株式会社アンドパッド】